

ろっぽう通信

【発行】
たじま医療生活協同組合
理事長 千葉 裕

【連絡先】
〒668-0851
兵庫県豊岡市今森465番地の1
ろっぽう診療所 ☎ 24-7007
ホームページ
<http://tajima-coop.com/index.html>

第117号 2015. 1. 15



迎春

撮影 池田 芳久
ウワノツツジ

ことしは創立二十周年

理事長 千葉 裕

たじま医療生協が創立されたのは一九九五年。千人から始まった組合員も今や四千人になろうとしています。翌年にろっぽう診療所をオープン。そして二〇〇五年には介護事業を開始、こちらも十周年をむかえます。医療と介護の連携も進んでいます。

その間には、医師の定着、財政赤字、水害などいろいろなことがありましたけれども、組合員のみなさん、職員、地域のみなさん、全国の医療生協・民主的な医療機関連合会のみなさん、多くの人たちの力・協力・支援のおかげで、乗り越えてくることができました。私たちの暮らしにはさまざまな悩みや苦しみや悲しみがあります。それらに寄り添えるような医療生協でありたいと思うのですが、まだまだ力不足を感じます。

二〇二五年をめざした総合計画も今策定中です。「あたたかなたすけあい」で、すこやかに人間らしく生きる（たじま医療生協の基本理念）「ために、ことしも協同の「わ」をひろげていきましょう。

年頭にあたり

ろっぽう診療所所長
藤井高雄



組合員の皆様、新年あけましておめでとございます。

総選挙の結果、安倍政権が多数の議席を獲得し、民主党が低迷、共産党が伸びてきました。小選挙区制の選挙は、少数の得票で多数の議席を獲得するという非民主的な制度です。機密保護を名目に国民の知る権利が脅かされる状態になり、戦前の状態・軍国主義になっていく危険性が非常に強くなっています。また貧富の差がますます広がり医療・介護・福祉への予算が削られ、お金がないために受けられなかった、100年前に逆戻りしていきつとされています。金持ちが優遇される新自由主義の中で、低医療費政策が続き医師不足もさらに深刻になってきています。但馬地域の基幹病院の慢性的な医師不足、勤務医の疲労は極限状態にあります。介護点数が削減され、介護職員が生活できなくなり、離職せざるを得ない状態になっています。

たじま医療生協が設立された目的は社会的弱者の立場に立ち、生活と健康を守って

くことにあります。この原点に立ち戻り、活動を展開していく必要があると思います。憲法を守り、戦争に反対し、生存権を政府に保障させる社会的な運動を続けていく事、外来診療・訪問診療・保健予防活動・介護事業等のレベルアップが求められています。ろっぽう診療所は、「家庭医療の展開」を目指しています。現在、家庭医養成教育診療所及び初期研修プログラムなどの地域医療研修診療所になっています。但馬地域で活躍される医師を育成できればと考えています。一緒に働いて頂ける医師を募集しています。ご紹介よろしくお願います。



初めての支部長会議

11月10日(月)支部長会議を開きました。初めてのこの会議に支部長または代理、組合員活動委員11人が集まり、強化月間中の取り組みと支部・班活動について意見交換をしました。

強化月間に関しては、支部運営委員会で、家族や知り合いに呼びかけてもらうように働きかけた結果、昨年以上に加入があったという支部がありました。また支部長を中心

に訪問した結果、加入につながったという支部もありました。

支部・班活動に関しては「以前から続いている趣味の集まりが班となり、より活発になりました。支部内の趣味の集まりを探して新しい班を作っている」という意見や「10月に行った竹田城散策のように、支部をこえた活動を行うことで、全体の動きが活性化するのはないか」という意見も出ま

した。

その他「医療生協が中心になって年金者組合等、他の団体と協力して、但馬地域の運動を盛り上げていってはどうか」という意見も出ました。今回出た意見より、診療圏内にある支部と遠隔地にある支部の活動のしかたを見直し、地域の実情に合った活動を展開していくことを確認しました。



豊岡市との懇談会 市へ意見・要望を提出

たじま医療生協では毎年、地域住民が健康に暮らせる施策を求める要望書を豊岡市に提出し、懇談の場を設けていただいています。今年は11月20日に、豊岡市保健センターで懇談しました。たじま医療生協からは千葉理事長をはじめ9人が出席し、豊岡市からは市民課、健康増進課、高年福祉課の担当課長・係長に出席

いただきました。

要望事項の中の、介護サービスから外れる対象者の方へ、現行サービスの維持をお願いしたいと掲げていることについては「要支援の人の予防給付が市町村に移行する。事業所アンケートもとおり、現在介護保険事業計画を策定中である。2、3月頃にはある程度のことをお示しできると考えている。たじま医療生協でアンケートを行なった、助け合いボランティア活動等についてご相談させていただきたい」との回答でした。

その他、国へ医療・介護の充実を図り、誰もが健康で文

化的な生活が営める社会の構築や、自費の予防接種の公費化を要望しました。市へは、自費の予防接種への費用の助成や公立病院の医師体制の充実、乳児医療・子ども医療を中学卒業まで無料にすることを要望しました。

要望がすぐに実現するケースは少ないですが、地域の健康を守るためにこれからも声を上げ続けます。

最後に千葉理事長が「担当課は市民の要望に添えてほしい。健康福祉の先頭を行くま

認知症に対応しよう

職員研修会開催

11月17日(月) 尼崎医療生協病院の山本泰輔先生による、認知症に対応するための勉強会を行ない、職員22人が参加しました。

認知症の9大法則の話の中で、症状はほとんど全てが、その人の立場に立って考えれば説明がつくということをお聞きしました。「なぜこんなことをするのか」と腹を立てても関係が悪化して、介護負担が増えるだけなので、「この人は、こんなことを考えてこういうことをするのか」と、温かく



見守ることが大切だと感じました。

新入職員研修会

12月18日(木)ろっぽう診療所裏のプレハブ室で行われた「新入職員研修会」に、看護師、ヘルパー、事務職の7人が参加しました。西垣事務

長と村井理事から、たじま医療生協の歴史や事業の概要、職員の心得等を学びました。参加者からは「大きな水害に、兵庫民医連をはじめ、全国から多くの支援をいただいで乗り越えた話には、その組

織力に驚きました」という感想や、「地域包括ケアについての話も、今後の動きが気になっていたので、興味深かったです」という声が聞かれました。

自分の職場環境をよく知って働くことで、よりよい医療、介護につながります。今回学んだことを忘れずに、活躍されることを期待します。



参加した看護師やヘルパーからは「難しい話だけでなく楽しい話もあり、わかりやすかった」との感想が聞かれました。

山本先生は10月27日から11月21日まで、ろっぽう診療所と介護事業所えがおで、地域医療研修をされました。またラージボールやグラウンドゴルフの班会にも参加してくださいました。先生の今後のご活躍をお祈りします。



虹の声

利用者の方が寄せられました

【声】電話で検査の予約をお願いした際に、日にちのみ予約していただききました。検査当日に、10分後に来てくださいと連絡を受けて、とても困りました。検査の予約の際は日時等を書いたメモをいただけたら(FAXでも)ありがたいです。
【回答】来所されて予約をいただいた場合は、必ず日時及び注意事項を記載したメモをお渡ししています。

今回の事例の場合は、お電話での申し込みで、定期的な同様の検査を受診されている方だったため、電話でのみの対応になりました。その際に担当者、時間についてお伝えすることを漏らしてしまい、大変ご迷惑をおかけすることになり、申し訳ありませんでした。今後については、ご要望にお応えできるよう、改善していきたいと思えます。

なお、現在当診療所の健診システムの更新を予定しており、新システムにより検査の予約から案内状の送付等対応ができるよう検討を進めております。

強化月間終了

9月25日にスタートした強化月間が終了しました。月間中は健康まつりをはじめ、竹田城散策や花ゆうみゴルフ大会等、色々な行事を行いました。その中でも、強化月間内に90人の新しい組合員を迎えることができました。各支部で色々な行事の計画や、仲間ふやし・出資金ふやしの工夫をしていただいたおかげです。支部運営委員会での換金の動きかけや、知り合いへの声かけ等が実を結んだところもありました。引き続き年度末に向けて、1人でも多くの仲間を増やしましょう。

12月末時点で組合員数は3772人となりました。4千人まであと228人です。先日の組合員活動委員会では、創立20周年の来年一年間を「強化年」とし、がんばって4千人組合員の組織をめざそうという意見が出たほか、春にも統一行動をしようという声もあがりました。委員会としても色々な意見を基に、多くの方が参加できる行事を考えていきたいと思えます。

虹のひろば

新田・中筋支部

☆絆班

11月13日(木) 14人で新そばまつりに出かけました。

地元豊岡産の新そばを使っ
た「採れたて、挽きたて、打
ちたて、茹がきたて」の4た
て『出石皿そば』を食べまし
た。大好評の新そばを食べた
あとは、それぞれ散策や買い
物を楽しみました。天気もよ
く、久しぶりの外出に皆さん
喜んでおられました。



日高支部

☆もちつき大会

12月28日(日)日高町の
高教組会館で、年末恒例の
もちつき大会を行いました。
過去最高の25人が参加しま
した。

できたてをあんこ、きなこ、
大根おろしで試食すると、
「やっぱりつきたては最高」
という声があがっていました。

できたお餅はその日のう
ちに、支部の独居の組合員
さんに届けられ、喜ばれま
した。来年も行う予定です。



健康チャレンジ お疲れ様でした

健康チャレンジに参加され
たみなさん、3か月間お疲れ
様でした。目標は達成できま
したか？今回達成した方は、
引き続き取り組みましょう。
達成できなかった方は目標を
見直し、続けられることに取
り組みましょう。運動習慣に
しても生活習慣にしても、で
きる範囲のことを毎日続ける
ことが大切です。

シリーズ

知って なる得

⑤ 居宅介護支援事業所えがお

居宅編

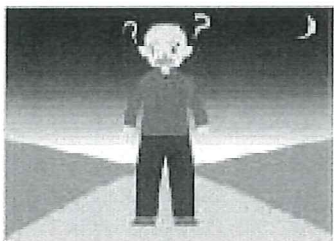
こんにちは、えがおです。
今回は認知症についてお話し
ます。

認知症の人は年々増加して
おり、高齢になるほど割合が
高くなります。85歳以上では
約4人に1人が認知症といわ
れています。

誰でも年齢と共に物覚えが
悪くなったりしますが、こつ
とした物忘れは脳の老化による
ものです。しかし、認知症は
通常の老化による物忘れと違
い、脳の循環が悪くなるため

に起こったり、アルツハイマー
のように脳細胞の病気になる
ために起こったりする症状
や状態をいいます。そして認
知症が進行すると、だんだん
と理解する力や判断する力・
記憶する力が衰え、社会生活
や日常生活に支障が出てくる
ようになります。以前なら当
たり前のようにできていたこ
と、例えば食事や入浴・排泄
が1人では困難になることも
あります。認知症の進行に伴
い、家族の負担も増えていき

がちです。時には冷たく当た
りたくなることがあるかもし
れません。しかし、そうする
と本人の病状はより進行して
しまいます。結局、負担が家
族に返ってくることになりま
す。認知症の対応は病気の理
解をし、本人の気持ちに合わ
せながら接す
ること
が大切
といわ
れてい
ます。
生活を
送る中、
家族が



つらく限界を感じることもあ
るでしょう。1人で我慢しな
ければならない介護は長く続
きません。気持ちにゆとりを
持つことが大切です。デイサー
ビスやショートステイ等を利用し、介護者が自分の時間を
作り気持ちにゆとりができる
ようにするのも1つの方法で
す。

認知症は人それぞれ症状が
違い、対応の仕方も違います。
家族だけで不安を抱えず、話
を聞いてもらったり相談をし
たりしていきましよう。

居宅介護支援事業所えがお

山崎 順子

転倒が心配な人は、早めに整
形外科専門医にみてもらいま
しょう。

理事のつぶやき

西村幸枝

10年前、安治川陽子さんのお声かけで理事になって今では古参です。

思い出すのは23号台風です。住んでいる区の大きなガス釜を借りてろっぽうに運んで行き、炊き出しに精を出しました。釜がなぜか点火せず、大慌てで業者さんに来てもらったこともありました。他地域の医療生協の方々の応援が続々入り、一枚一枚カルテを広げて干しておられるのを見て、心底、民医連の素晴らしさを知り、大丈夫、切り抜けられ

ると確信したものでした。

その後、介護事業所の立ち上げが決定され、ヘルパーテーション開設には何人かのヘルパーの資格をもった者が要るということで、村岡廣子さんと二人、指名されました。名前だけのつもりが実働することになり、ユニフォームをもらって「家事」支援として遠くは港地区まで「仕事」に行きました。2年ばかりのことですが、利用者さんとお話しするのも楽しいことが多く、貴重な体験をさせていただき

学術運動交流集会

たじまからも多数参加しよう！

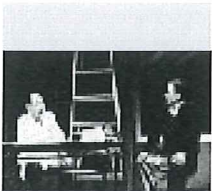
2015年3月8日(日)に開催が決まりました。

テーマは「ひとじゃない！ “生きる”を支える医療と介護」無差別平等の地域包括ケアの視点で安心のまちづくりをすすめるようです。他の医療生協の取り組みの発表を聞くことで、たじままでの活動の参考にしましょう。

いつもは午後から講演会があります。今回は「青ひげ先生の聴診器」という題名の記念公演があります。

兵庫民医連第40回学術運動交流集会

と き:2015年3月8日(日)
と ころ:神戸国際会議場
朝7時にマイクロバスがろっぽう診療所を出発します
*「青ひげ先生の聴診器」は観劇料が別途必要です



青ひげ先生の聴診器の一場面

ました。

今は送迎ボランティアをしておりますが、利用者さんから診療所への感謝・信頼の言葉を聞くのは喜ばしいことです。こちらはそろそろ引退かなと思っております。

私が医療生協、コレだと思いい理事になった理由は何かで「長期計画」という言葉にふれたからです。当時、神戸の両親が別々の施設(父は盲人人ホーム、母は特養)にお世話になっており、高齢者施設のありようにとても関心がありました。利用者がどのような状態でも安心して生活し尊

重され、スタッフが誇りとやりがいをもって仕事のできる施設、それを支える地域がある、そういう希望・夢を感じたからです。

「長期計画」はその後紆余曲折がありながら現在「総合計画」となって計画完成・計画実現へと進もうとしています。たじま医療生協発足20周年になる年を迎えます。小さな実現でもそれは大きな一歩、その一歩が踏み出せま



患者さんの送迎ボランティア募集

月1回でも結構です。時間もご相談させていただきます。ご協力いただける方はぜひご連絡ください。
●月々土曜日
●午前9時~12時
詳しくはろっぽう診療所まで。
事業利用委員会

事務幹部を目指す職員を募集します

経理に明るく、民医連・医療生協運動に理解のある方を募集します。

(詳しくは折り込みチラシをご覧ください)

ろっぽう投函箱

- ガンバルよ 決意の瞳 予防接種
- 一人では 悩まないでね 認知症
- きな臭き気配感じて耳澄ます

戦争知らぬ世代なれども

恵 亮 マメ子

ろっぽう診療所 診療体制

	月	火	水	木	金	土
午前 9時~12時	○	○	○	○	○	○
午後	(往診)	(往診)	(往診) <small>(予防接種)</small>	(往診)	(往診) <small>(予防接種)</small>	/
夜間 5時~7時	/	/	○	/	○	/
受付時間	午前8時~12時		夜間4時~7時			
日曜・祝日	休診					

ろっぽう診療所

〒668-0851 豊岡市今森465-1 ☎24-7007 F 24-7010

介護事業所 えがお

〒668-0852 豊岡市江本396-1 101号・102号
居宅介護支援事業所えがお ☎24-7013 F 24-6154
訪問看護ステーションえがお ☎24-6144 F 24-6154
ヘルパーステーションえがお ☎24-4731 F 24-4733
訪問入浴サービスえがお ☎34-9110 F 24-4733

募集

訪問看護師
登録ヘルパー
訪問入浴看護師(パート)
訪問入浴ヘルパー(パート)
担当:和田・西垣まで
(TEL 24-7007)

1人分

529Kカロリー
 蛋白質 23g
 塩分 1.87g



とっっても
 おいしいよ!



「私のおすすり料理」⑰
 黒豆を洋風炊き込みご飯に!
黒豆ピラフ

管理栄養士 川戸宏子

◆材料(4人分)◆

- 白米……………2合(360cc)
- 黒豆……………1カップ
- 鶏ひき肉……………100g
- 玉ねぎ……………1個(200g)
- バター……………20g
- コンソメスープの素…小さじ2杯
- 塩……………小さじ1/2杯
- こしょう……………少々

◆作り方

- ①米はといでざるにあげる。
- ②玉ねぎは1センチ角に切る。
- ③フライパンを熱し、さっと洗った黒豆を入れ空いりする。豆の表面が乾燥し、全体に豆の皮が割れるまで加熱したら取り出す。
- ④③のフライパンにバターを溶かし、玉ねぎを入れて炒め、透き通ってきたら①の米を入れ、約2分炒める。
- ⑤炊飯器に④と水430㏍、460㏍、黒豆、鶏ひき肉、スープの素、塩、こしょう少々を入れ、普通に炊く。

シリーズ 神鍋高原で見られる山野草⑥ 1~2月

案内人 泉 鐘 八 郎
 (神鍋山野草を愛でる会)

神鍋高原は積雪が続きます。晴れ間を見て外に出ると、植物は春の準備をしっかりとしています。2月になると神鍋高原特有の、12℃の湧水清流沿いでは、晴れ間に早春の花が見られます。一足早い贅沢な花見です。3月スキーをしながら、マンサクやオウレン、ダンコウバイ等が見られます。晴れ間を見つけてスノーシュー(昔のかんじき)で雪上を歩くこともできます。



キリの冬芽



ミツマタ雷



ミズメ花芽



コブシ冬芽



コシアブラ冬芽



セイヨウタンポポ



オオカワジシャ



アツミカンアオイ



ナニフズ



ネコヤナギ



ヤブヘビイチゴ



ヤマハンノキ



キブシ



アズマイチゲ



セキショウ